

平成22年度地域スポーツ指導者育成推進事業 取組事例

都道府県名 神奈川県 受託団体名 特定非営利活動法人FCゴール

事業テーマ

- ・多様化するスポーツニーズに対応するため高度な専門知識と実践的指導力を持ち合わせたスポーツ指導者育成と人材の発掘を行う。
- ・学校・家庭・地域においてスポーツをツールにコーディネートできる人材の発掘と育成を行う。
- ・専門スポーツ領域外の視野拡大を図り、学校・地域とともに活動し、子どもたちと一緒に成長する指導者の育成を行う。
- ・家庭・学校と連携・連動することにより、子どもの健全な育成と地域スポーツ振興を行う。
- ・地域スポーツに総合型地域スポーツクラブの必要性を訴え、設立機運を高める。

【テーマ設定の理由】

- ・スポーツ指導者の多くは青少年の健全育成に大きな影響を与えている。家庭や学校がカバーできない諸問題に対し、地域社会の目線からの広い視野でのアプローチが可能である。その波及効果は、青少年が自発的に行動する力量を形成することであり、スポーツ指導者が学校、家庭、地域を連携・連動できる力を身につけ、行動する可能性を秘めている。
- ・本事業の目的は、スポーツ指導者が最低限身につけておきたい基礎・基本の知識・技能などを習得し、スポーツ指導者としてさらに能力発揮できることにある。
- ・青少年とスポーツ指導者の相乗的な力量形成はすなわち、豊かで活力ある生活・暮らしを生涯スポーツを通じて地域をサポートする能力を身につける発展的な事業を支える。

地域スポーツ指導者育成推進委員会

海老原修 横浜国立大学 教育人間科学科
中村和彦 山梨大学 教育人間科学部
清水隆一 キャリパーコーティング株式会社
中田一志 横浜市教育委員会
田中光信 横浜市教育委員会
小泉英一 横浜市市民局 スポーツ振興課
横尾典克 社団法人横浜青年会議所
川口宏 横浜市体育協会 地域スポーツ支援部
松本研 横浜市議員
鈴木満 横浜市立吉田中学校
土谷満 横浜市立吉田中学校
中村真一 はまっ子ふれあいスクール
熊切隆夫 横浜市立篠原中学校
佐々木良介 日本体育協会スポーツドクター
熊谷孝一
大高聡 横浜YMCAスポーツ専門学校
徳元哲夫 スタジアム・エンタープライズ株式会社
中村勝則 横浜Fマリノス株式会社
亀谷学 県立体育センター生涯学習部スポーツ推進室
角田直人 県教育委員会教育局生涯学習部スポーツ課
遠藤晃弘 東海大学 観光学部 観光学科
宮原泉 横浜市地域コーディネータ
齋藤清美 神奈川県立相模原高校
勝山宏美 保土ヶ谷バスケットボール
細野太郎 日本大学高校ラグビー部
半谷真一 FCゴール理事長

受託団体名 特定非営利活動法人FCゴール

【受託団体概要】

- ・設立年月日 平成 19 年 2 月 設立 平成19年 5月10日NPO法人認証
- ・所在地 〒231-0047 神奈川県横浜市中区羽衣町3-84横浜市立吉田中学校内 FCゴールハウス2007
- ・特色 スポーツを楽しむ、仲間を大切に、文化・歴史を学ぶ、子どもと一緒に大人が成長し続ける。スポーツの新しい姿と仕組みを学校・行政・地域の方々と一緒に考えチャレンジをし続ける。
- ・会員数(H22.7.1現在) 180 人 ・定期活動種目数 6 種目
- ・平成22年度総予算額 8,987,482 円

①地域スポーツ指導者育成推進委員会(プログラム作成部会 & 発掘部会)

◆実施概要

平成22年7月28日(水)18時45分～20時15分 吉田中学校コミュニティハウス第1研修室 参加者12名
・平成21年度地域スポーツ指導者育成推進事業の報告
・平成22年度地域スポーツ指導者育成推進事業の概要説明

平成22年9月22日(水)18時45分～20時15分 吉田中学校会議室 参加者13名
・平成22年度地域スポーツ指導者育成講座推進捗状況について
・平成21年度地域スポーツ指導者育成講座修了者の追跡調査について

平成22年11月24日(水)18時45分～20時15分 吉田中学校会議室 参加者12名
・平成22年度地域スポーツ指導者育成講座について(報告と課題)
・その他

平成23年2月16日(水)18時45分～20時15分 吉田中学校会議室 参加者16名
・平成22年度地域スポーツ指導者育成講座について(報告と課題)
・平成23年度への展望について

◆評価

推進委員会では、積極的な意見交換が行われ、今後のスポーツ行政のあり方など幅広く議論され、この地域スポーツ指導者育成推進事業の本来の意味が大きく発揮された。

基礎講習会(平成22年度地域スポーツ指導者育成講座)

◆講習会のねらい

- ・スポーツ指導者の多くは青少年の健全育成に大きな影響を与えている。家庭や学校がカバーできない諸問題に対し、地域社会の目線からの広い視野でのアプローチが可能である。その波及効果は、青少年が自発的に行動する力を形成することであり、スポーツ指導者が学校、家庭、地域を連携・連動できる力を身につけ、行動する可能性を秘めている。
- ・本事業の目的は、スポーツ指導者が最低限身につけておきたい基礎・基本の知識・技能などを習得し、スポーツ指導者としてさらに能力発揮できることにある。
- ・青少年とスポーツ指導者の相乗的な力量形成はすなわち、豊かで活力ある生活・暮らしを生涯スポーツを通じて地域をサポートする能力を身につける発展的な事業を支える。

◆実施概要

9月11日(土)【コミュニケーション】キャリアパーコーチングカレッジ(株) 代表取締役清水隆一先生

10月9日(土)【地域スポーツの考え方】横浜国立大学教育人間科学部海老原修教授

10月9日(土)【地域スポーツの中でのジェンダーの考え方】明治大学政治経済学部高峰修准教授

10月9日(土)【障害者スポーツを考える】横浜市立 中学校教諭中井敦彦先生

10月16日(土)【コーディネーション】帝京平成大学地域医療学部医療スポーツ学科東根明人准教授

10月24日(日)【文武両道をめざして】摂津総合法律事務所 弁護士八十祐治先生

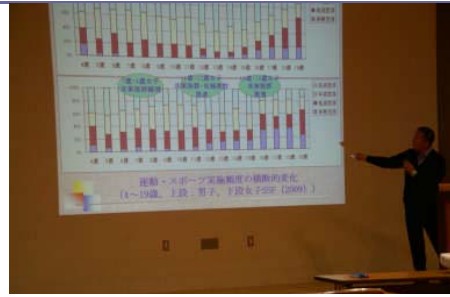
10月24日(日)【新しい公共と総合型地域スポーツクラブ】大阪教育大学付属高等学校平野校舎教諭松田雅彦先生

10月24日(日)【スポーツ指導者になるということ】財団法人日本体育協会財務部キャンペーン課課長岡達生先生

◆参加者数 総計240名

◆活動の様子





◆評価

講習会開始後、口コミで参加者が増えたその中から意欲ある受講者が新たな受講者を誘い、ある講座では参加者が教室を満席にした。

本事業の成果

3ヶ年にわたって実施してきた地域スポーツ指導者育成講座で出来た各界の講師の先生方、たくさんの受講者の皆さまとの間で出来上がったネットワークが何よりも成果と言える。

本事業の課題と今後の取組

本事業のテーマを追求するには、膨大な時間を要するため、生涯スポーツ振興の一環として事業の継続化が必要である。言い換えればスポーツ文化をより浸透させる努力を継続することが課題だと考える。地域のクラブとして意識啓発を続ける意欲はあるが、このムーブメントをさらに加速させるために多くの賛同者とともに生涯スポーツ文化実現に向けて歩み続けることが課題である。幸いにも3年間の事業実施において多くの賛同者を得て、平成23年度かながわコミュニティカレッジにて『子どものスポーツコーディネーター養成講座』として採択され、平成23年7月7日から9月22日までの全8回の講座が継続実現した。

7月7日(木)

10:00～11:30 子どものスポーツの考え方 手先の運動が苦手な現代の子どもたちにスポーツがもたらすものについて
横浜国立大学教育人間科学部教授 海老原 修

7月14日(木)10:00～11:30

すぐに使える子どものスポーツプログラム(実技) コーディネーション能力とは。実際に身体を動かしながら理解を深め、すぐに子どもたちに提供できるプログラムの体験
日本幼児体育学会幼児体育指導員日本体育協会ジュニアスポーツ指導員(特非)FCゴール客員コーチ 下崎 将一

7月21日(木)10:00～11:30

子どもの食事とスポーツ マリノスフットボールアカデミーの子どもたちの事例をもとに、強い体と心をつくるための食生活のルール、子どもたちの食生活の課題とその対処方法などを学ぶ。
横浜F・マリノス食育コーディネーター 望月 選

7月28日(木)10:00～11:30

子どもがスポーツから得るもの 少年期の運動、スポーツが、子ども達に与える影響について指導者が、主役である子どもたちを支える立場であるには
東海大学観光学部観光学科専任講師 遠藤 晃弘

9月1日(木)10:00～11:30

子どものカラダ・ココロとスポーツ 子どもたちの体力低下や、生活習慣病。元気いっぱいのはずの子どもたちに、今、何が起きているのか。私たち大人が子どもたちにできること 山梨大学教育人間科学部教授 中村 和彦

9月8日(木)10:00～11:30

学校・家庭・地域の連携と新しい公共 学校・家庭・地域社会の三者の連携と新しい公共について
横浜市教育委員会指導主事 田中 光信

9月15日(木)10:00～11:30

子どものスポーツ実践事例研究 横浜市青葉区の市立鉄小学校を活動拠点とした総合型地域スポーツクラブの「くろがね倶楽部」のケースから、地域密着での活動について学ぶ。
くろがね倶楽部 宮原 泉

9月22日(木)10:00～11:30

地域スポーツ指導者の学校との連携 スポーツ基本法を見据えた地域スポーツ指導者の学校との連携を探る。
(特非)FCゴール 理事長 半谷 真一

(本件問合せ先: 特定非営利活動法人FCゴール 045-231-6111)